

平成 27 年 5 月 26 日

「2014 年度 CQA受賞企業報告会」を開催

5月26日（火）14時00分より「2014年度 CQA受賞企業報告会」がきぼーる13階第3会議室において開催されました。本報告会は、千葉県経営品質賞を受賞された企業をお招きし、受賞までの経緯や活動の内容をお聞かせいただき、受賞企業のベストプラクティスを学ぶものです。

冒頭、坂本崇新賞制度委員長のご挨拶のあと、岡本正耿判定委員長より、今回奨励賞を受賞された評価されたポイント及び改善項目についてお話をいただきました。



【開会ご挨拶】
千葉県経営品質協会
賞制度委員長 坂本 崇



【受賞企業のポイント】
千葉県経営品質協会 判定委員会
委員長 岡本正耿

引き続き2014年度千葉県経営品質賞 奨励賞を受賞された（社福）六親会様湯川保理 社長、湯川智美常務理事、（株）不二精工清田浩義代表取締役、真板秀雄 経営企画室長から、1組織役40分の短い時間でしたが、申請組織のきっかけや経営品質賞申請後の気づきを得たことなども、ご紹介をいただきました。



【受賞企業報告】
社会福祉法人 六親会
常務理事 湯川 智美 様



【受賞企業報告】
株式会社 不二精工
代表取締役社長 清田 浩義 様

休憩をはさんで行われた、岡本正耿様の講演では、イノベーション・サイクル、顧客インサイトなど真の顧客の要望を理解し、価値を創造する仕組みについてお話を頂きました。

今年度は終了後、岡本先生や受賞組織の幹部の方を囲んで懇親会が開催され、お話をお聞きする時間を作らせていただきました。

今年度も当協議会は、「お客様から求められる組織づくり」を目指して、会員企業の皆さまはもとより、県内企業の皆さまとも新たなネットワークを拡げながら活動して参ります。ぜひとも会員の皆さまの積極的なご参加をお願いいたします。

(参加 22組織42名)

(報告：運営委員会) 以上

参加した方の感想 抜粋

- ・経営幹部自らが主体となり、中期計画「プロジェクトフェニックス」→「プロジェクトリボーン」を作成するようになったとの事、組織能力向上の示唆を頂きました。
- ・社長ではなく、幹部が組織プロフィールや3年後の” ありたい姿” を作成していることに感心した。
- ・組織による価値創造と個人の成長の仕組みは大きな経営課題であることに共感した。
- ・両組織とも経営者だけではなく会社全体で取り組んでいることがよく伝わった。
- ・経営幹部が徹底的に対話をされていることに感心しました。
- ・経営層の情熱の高さを感じ勉強になりました。
- ・価値観を明確にすることで経営の軸がぶれないことを理解できました。
- ・あるべき姿と現状のギャップを埋める作業は自社でも行っており、とても参考になった。
- ・” 声” を社内のキーワードにして、お客様や社員を知る仕組みは大変良いと思った。普通のアンケートだけでは聞けない声まで収集できていると感じた。
- ・福祉の話を聞くと、健康で生きていられることに感謝してしまう。
- ・顧客の要望を理解する為の普段から常に意識し、経営層が、社員の行動や言葉を見逃さないで、気づいた人を認める風土が素晴らしい。
- ・今回受賞された組織を、訪問し社内の風土を感じたい。

等々

(どうして質問やその回答はまとも次第アップいたします。)